

お手数ですが、職場で回覧してください

千葉県職労情報 第336号

2006年10月13日 千葉県職員労働組合
TEL 043-223-4608 FAX 043-224-5475

Eメール: honbu@chibakensyoku.jp

ホームページ URL <http://www.chibakensyoku.jp/>

一人で悩んでいないで、
県職労に相談してください

「ニューフィル千葉」の存続・充実を求める申し入れ

10月10日、県職労とニューフィル千葉支部は「ニューフィル千葉」の存続・充実を求めて県文化振興課長に申し入れを行いました。申し入れには、県職労本部から斎藤副委員長、白鳥書記長、山下中央執行委員、ニューフィル千葉支部から姫野副委員長外2名が出席しました。



県職労要求	文化振興課長回答
小倉課長に申し入れ手渡す。	主旨はわかりました。スタンスは、県議会答弁であったとおりです。現在の状況が大幅な改革なしで支援は出来ない。だから改革を進める。それに従って進めたい。私の立場は出来るだけ存続したい。無条件でなく新しい課題で音楽的、経済的、営業的に脱皮して新しいニューフィルを新しい組織として楽団として生れ変わるはざかいき。改革なくして乗切るのは難しい。新しい元気のいい新しいニューフィルを存続して行ってほしい。
課長の考える「改革」とは何か。	ひとつは安定的経営、二つ目は楽団としての魅力が必要。その為に抜本的に改革していく必要がある。
県として何が出来るか。	まず、どのような改革をするのか見たい、その上で判断。
改革というと人件費削減か。	安定的経営、定期演奏会が減っている今までにない。支出の削減策これからの経営的課題。

<p>県職労で「友の会会員」を拡大をしている。</p>	<p>大変重要なことですね。</p>
<p>昨日の財団との交渉で、10月の給料がでない恐れもあって言っている。</p>	<p>給料のことは聞いていない。</p>
<p>改革プランは出来ているのではないか。</p>	<p>最終的なものは出されていない。組合の同意を得た形でユニオンの考え方をに入れて持って来てもらいたい。でないという意味がない、早くまとめてほしい。</p>
<p>銀行の融資が極めて重要だが、県の保証があれば銀行は融資をする。</p>	<p>我々も銀行に説明する時、存続したい立場で考えるが、これなら継続できるものが必要だ。</p>
<p>10月の給料がでない等の事態は起こさないということか。</p>	<p>無条件でなく、改革して新しいニューフィルをつくってもらいたい。そうゆうものを出してくれるなら全力を尽くす。雇用形態については、基本的合意を確定してもらいたい。ただちにすぐやるというのではなく、いろいろやり方があるでしょう。</p>
<p>オーケストラを県民に提供する担い手として改革することには合意できる。労働条件の問題は、十分な話し合いが必要だ。人件費の圧縮は契約社員につながる。</p>	<p>時間的なものもある。金融機関もあるので先延ばしは出来ない。基本的な枠組み制度、基本的なワクを早く合意してほしい。</p>

県 職 労 第 5 5 号
2006年10月10日

千葉県知事
堂本 暁子 様

千葉県職員労働組合
中央執行委員長 宇内 敏 哲
日本音楽家ユニオン関東地方本部
ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉
代 表 大 森 啓 史

「ニューフィル千葉」の存続・充実を求める緊急の申し入れ

日頃から、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（以下「ニューフィル千葉」と略）に対してのご理解とご支援に感謝いたします。

ニューフィル千葉は、1985年の発足以来、千葉県唯一のプロオーケストラとして数多くのコンサートを開催し、県民の音楽文化振興に寄与しています。また、小中学校を中心に「音楽鑑賞教室」を県および当該市町村の支援によって行い、子どもたちの豊かな心を育む一助として教育としての大切な役割も担っています。また一方で、

オーケストラ運営が「公的支援なしでは成り立たない」ことは、他県の状況を見ても明らかです。

しかしながら、近年は音楽鑑賞教室や依頼演奏会の減少により、財団の財政運営は年々厳しさを増してきています。

そして、今年に入って、財団は楽団員の6月ボーナスを全額カットし、さらに、人件費の大幅削減のために雇用形態の改悪を行おうとしていますが、労使間で十分な協議が成されぬまま性急に導入しようとする動きは容認できるものではなく、楽団員の生活をないがしろにするばかりか、低賃金・不安定雇用の楽団で、豊かな音楽文化の提供を維持していくことは極めて困難であり、ニューフィル千葉そのものの存続にも関わってきます。

さらには、最近の「解散危機」との新聞報道などもあり、当面の資金繰りにも困難を生じかねない状態、現状は職員の給料支給さえ危ぶまれるうえに、解散という最悪のシナリオも危惧されます。

知事は、理事長の「ごあいさつ」のなかで「ニューフィル千葉が県の芸術文化の顔としてますます重要な役割を担っていきたい」述べられています。私たちも、財団の現状が良好であるとは認識しておらず、健全な経営のもとで豊かな音楽文化を県民に提供するためにニューフィル千葉を改革して行き、そのために最大限の努力をする所存であります。

こうした状況のなかで、千葉県音楽文化の灯を消さないよう、ニューフィル千葉の存続・充実のために、緊急に以下の点について申し入れます。

記

1. ニューフィル千葉の存続・充実のために、県としての支援を強化すること。
2. ニューフィル千葉の楽団員・職員の雇用、労働条件の確保について、設置者として責任を持つこと。

以 上

当面の日程

第110回定期大会

10月19日（木）10時から開催

場所：文書館6階多目的ホール

東金病院交渉と集会

交渉：10月13日（金）18時から東金病院会議室

交渉報告集会：10月17日（火）18時から東金病院会議室

東金病院集会：10月31日（火）18時から東金病院会議室